

## 種なしキンカン「宮崎夢丸」露地栽培における着色促進

着色初期のエテホン液剤散布で着色が進み、年内収穫割合が高まります

## 背景・目的

- 「宮崎夢丸」は、種が無いため、加工に向くキンカンです。
- 露地栽培では、着色が進まず、冬期に霜害にあうことで、収量の低下が懸念されます。
- エテホン液剤による果皮の着色促進効果を確認しました。

## 成果の内容

- エテホン液剤散布は、落葉や裂果が多少増加するが、年内の収穫割合が高まります。
- エテホン液剤の着色促進効果は800倍よりも500倍が高くなります。
- 結果量が多くても少なくても、着色は促進されます。

(表1): 結果の多少とエテホン液剤500倍散布による果皮の着色と時期別収穫割合

試験区	着色歩合 (1-10)	カラー チャート値 (CC)	年内収穫 割合	裂果割合
結果多エテホン散布区	5.9	3.3	64%	11.7%
結果少エテホン散布区	6.0	3.1	47%	7.2%
結果多無散布区	1.6	1.6	5%	1.5%
結果少無散布区	1.3	1.6	2%	0.4%

(表2): エテホン液剤の散布濃度の違いによる果皮の着色

試験区	着色歩合 (1-10)	カラー チャート値 (CC)	8分着色 以上割合	裂果割合
エテホン500倍散布区	8.2	4.8	49%	4.8%
エテホン800倍散布区	5.8	3.5	14%	1.6%

## 成果の活用方法(又は期待される効果)

- 年内の出荷割合が高まり、霜害の影響が少なくなることで、収量が増加し、所得向上に繋がります。
- 着色良好な果実は、果実を丸ごと利用した加工での需要が高まります。

■ 普及対象地域・面積 「宮崎夢丸」栽培地域 0.5ha

## 留意点

- 散布に当たっては、最新の農薬登録情報を確認する必要があります。